

「父親の子育て」

以前に比べると、家事・育児にかかわるパパは増えていますが、『仕事のため』という、これまでの考え方に甘えて、両親の共同作業であるべき子育ての義務をおろそかにしているパパもまだいます。世間では、積極的に家事や育児に関わっている父親を「イクメン」と呼んでおり、父親による育児への意識が高まっています。子どもが生まれてから子育てに積極的に関わっていきたいと思っている男性も多い一方で、実際には長時間の仕事と家庭との両立に悩みを抱えている父親も多いのではないのでしょうか。今回は父親として知っておいて欲しいことについて触れていきたいと思います。

①父親が育児をすると、子どもの自己肯定感を高めます。

子どもの心を育てるうえで一番大切なものは、自己肯定感を育むことです。父親が育児をすることで、子どもは『父親からも愛されているんだ』という気持ちを持ちます。

②父親が積極的に子どもに関わると、強い心の絆が生じ、さらに活発に育つようになります。

お風呂に入れたり、抱っこしたり、おむつを替えたり、積極的に子どもに関わることで、父親の自覚が育ち、我が子への没入感情を持つようになります。それに伴い、父親と子どもの間に強い心の絆が育まれます。

③子どもと遊ぶことによって、父親にとってもストレス解消になり、父と子の心の絆が育まれます。

子どもの自立心を育てるのに、一番大切なものは遊びです。子どもと体を使って遊ぶことで、子どもはとても喜び、また、体が丈夫に育ちます。

④お父さんから褒められると、子どもは、学校や社会へ出ていく自信を持つようになります。

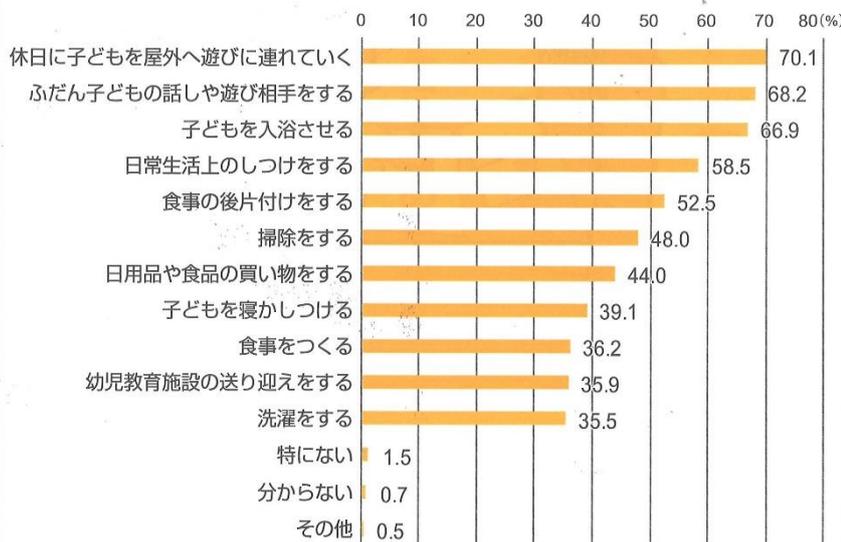
お父さんから褒められ、認めてもらうと、子どもは自信を持ち、自分はきっと友達からも認められる、学校や社会でも認めてもらえるという自信を持つことができます。

⑤母親の苦勞をねぎらい、感謝の言葉を述べる。

『母親の心をいかに支えるか』これが父親の子育てで、最も大切なポイントと言っても過言ではありません。母親の大変さをねぎらい、感謝の言葉を述べる。そうすると、その言葉は自分にも返ってきます。



家事や育児で夫も行った方がよいと思うこと



平成25年「家族と地域における子育てに関する意識調査」内閣府

○小学生の時期になると、友だちのことや勉強のことなどで心配が出てきます。妻（母親）からの心配ごとの相談に面倒がらず、耳を傾けましょう。

○子どもの安定した人格形成には、母親がゆったりと子育てをすることが望まれます。そのために父親は、妻（母親）へのいたわりを心がけましょう。

<参考>

- ①家庭教育ブック
～すくすく育ていばらきっ子～
- ②忙しいパパのための
子育てハッピーアドバイス